古河市長　白戸　仲久殿

（仮）南古河駅と筑西幹線道路の早期実現を求める要望書

（仮）南古河駅は、古河市における長年の懸案であります。昭和５８年には「東北本線南古河駅設置期成同盟会」ができ、毎年ＪＲに対して陳情活動を続けてまいりました。平成１７年９月１２日に３市町が合併して、新生古河市が誕生いたしましたが、（仮）南古河駅の早期実現は、合併協定における新市建設計画の先導的プロジェクトで、第１位に位置づけられています。アンケート調査をみても、１０代、２０代、３０代という若者の多くが大きな期待と関心を寄せています。

また、（仮）南古河駅は、第１次古河市総合計画において新都市拠点に位置づけられており、筑西幹線道路も合わせて整備をすることで、通勤・通学の利便性が飛躍的に向上するとともに、市の活性化にもつながります。

さらに、県においてもこの地域を茨城の西の玄関口として発展させたいという考えもあり大きな期待をかけており、支援をしていただけるものと考えます。

このように多くの人が期待を寄せている（仮）南古河駅と筑西幹線道路を早期に実現していただきますよう要望いたします。

要　望　者　名　簿

住　　所	氏　　名	印